

ぶん 文しょうを よ 読んで、 こた 答えを か 書きましょう。

港の朝

早おきして、父と港へ行きました。まだ空は暗く、電とうの
あかりが水面にゆれています。大きな船がつぎつぎと帰って
きて、魚をはこぶ箱が岸につみ上げられます。氷の上にならんだ
魚は、銀いろに光っていました。「いちばん重いものは
三十キロをこえるよ」と、父の知り合いが教えてくれました。
そばの店で、あたたかいしるをいっぱい飲みました。帰り道、空が
明るくなりはじめ、遠くの山の上に太陽が見えました。

1 早おきしてだれと港へ行きましたか。
父

2 電とうのあかりはどこにゆれていましたか。
水面

3 魚をはこぶ箱はどこにつみ上げられますか。
岸

4 氷の上の魚はどう光っていましたか。
銀いろに光っていました

5 いちばん重いものはどのくらいですか。
三十キロをこえる

